

委員からの意見（協議会結果報告書）

1. 相双地域の抱える課題について

資料2に示す「相双地域の課題」に加え、他にどのような重要な課題があるか意見頂きました。

委員意見

- ・医療と保健、福祉を担う人材の確保対策が必要である。
- ・地域医療再生に関して、診療科別不足の把握が必要である。
特に小児科医と産婦人科医の不足は、地域に定着しようとする若い人達の人口増加の妨げになっていると考える。
- ・双葉郡内の医療機関再開にあたっては、特例での再開条件が必要である。
- ・ふくしまHACCPの導入、啓蒙が必要である。
- ・高齢者の単身世帯の増加及び高齢者のみの世帯が増えており、見守りや生活支援体制の整備、介護予防や認知症施策の充実等地域包括ケアシステムの推進が必要である。
- ・双葉郡で帰還する町村が増えている中で、帰還した町村への支援を充実させる必要がある。
- ・生活習慣病を予防するための環境づくりの推進について、“食・運動・社会参加”の県民運動の展開を図る必要がある。

2. 今後10年間（令和3年度～令和12年度）に県の目指すべき方向性について

「課題の解決に向け、令和3年度～令和12年度に県が取り組むべきことは何か」「このような施策や事業に取り組んでみてはどうか」、意見頂きました。

委員意見

- ・医療と保健、福祉を担う人材の確保対策が必要である。
- ・外来医師偏在のみならず、診療科偏在も地域にとっては重要課題なので、是正対策を入れるべきである。
- ・双葉郡内の医療機関再開にあたっては、双葉地方の現状認識が相当必要である。医療機関が活動しやすいよう、特例措置を幅広く認めるような、法制度の柔軟な解釈が必要である。
- ・高齢者施設のみならず、障害者施設等への摂食嚥下、口腔ケアの推進に取り組む必要がある。
- ・キビタン健康ネット等を含めた、医療のICT化事業を推進する必要がある。
- ・医療者が定着できるまちづくりを推進する必要がある。医療者育成のため、小・中学生が興味を持つイベント開催などへの補助が必要と考える。
- ・高齢者対策：認知症対策に取り組む必要がある。また、高齢者虐待や対応困難な高齢者が増加しており、それに伴い8050やひきこもりの問題が顕在化するケースが増えている。そこで、その実態把握やその対応について取り組む必要がある。
- ・双葉郡で帰還する町村が増えている中で、帰還した町村への支援を充実させる必要がある。
- ・生活習慣病を予防するための環境づくりの推進について、“食・運動・社会参加”の県民運動の展開を図る必要がある。